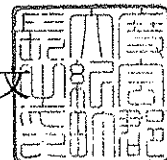


平成19年5月1日

国土交通省道路局長 様

三重県大紀町長 柏木 廣 文



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

昨今の急速なモータリゼーションの発展と生活環境の変化の中、当地域の生活の根幹ともいえる道路整備は、最重要課題となっています。

通常時は言うに及ばず、有事の際には、まさに『命の道』となる交通体系を整備することは、地域住民の生活の安定を図り、安全・安心な地域づくりを行う上でも、必要不可欠であると考えます。

都市と中山間農漁村地域との格差が一層拡大している今日、その大きな要因のひとつとして、交通体系、特にこれまでの道路整備の遅れが指摘されているところであります。が今後さらに少子高齢化が進むと予想されている中で考えられることは、将来の担い手たる後継者が著しく減少することで、事実上農地林地等の維持管理が手薄となり、放棄農林地が一層増大することが懸念されるところであります。また、車両の大型化や迅速化が必須である近年の漁業においても、道路整備の遅れが街や港を一層閑散とさせていることは言うまでもありません。ひいては、こういった現象が国土の荒廃の要因の一つとなることで、近年声高に叫ばれている地球規模の環境保全問題にも少なからず影響を及ぼすことが危惧されます。

したがって地方では、道路の持つ役割はいまさら申し述べるまでもなく極めて多面的であり、市町村道にとどまらず国道・県道でさえ未整備区間も多く、これを解消するためにも道路特定財源こそが地域格差是正の主役であると強く認識しているところであり、ましてや他への流用などは、制度的な見地からも断じてあってはならないことであると考えます。

これまでの道路特定財源の用途については、一部地域への集中的な財源投入が多額の債務を生む結果となったことなどにより、一般財源化への道筋をつけてしまったのではないかと推考します。提示された参考資料を拝見し、意を異にするものではありませんが、万が一、一般財源化される場合には、暫定税率を廃止され、本則に戻されたいことを申し添えます。

つきましては所信を申し上げましたが、当町の意見として、次の点についてご配慮願いたいと存じます。

1. 地域格差だけでなく、時間距離格差の解消への対応をされ、日常そこで生活する生活者起点としての事業推進を図られたい。
 - ・首都圏や都市部からの時間を基軸とした距離を短縮することで、地域の生活格差が縮まり、生活力を向上させることとなります。
2. 有事の際、避難用道路・物資輸送路としての利用形態を視野に入れた道路整備を推進されたい。
 - ・病人やケガ人の搬送だけでなく、大雨時等の緊急避難路や、近年その発生が危惧されている東海・南海、東南海地震発生時の緊急物資の輸送路として整備することにより、地域住民の生活の安定と、災害に強い国土づくりとなります。
3. 地域の観光資源の有効利用と更なる活性化のため、高速道路料金の引き下げによる、高速道路ネットワークの効率的活用を図られたい。
 - ・利用者の強い要望でもある高速道路料金の引き下げにより、地域の活性化の引き金となっている観光資源が、利用客の増大により、より一層の活性化が図られると考えます。
4. 道路特定財源の見直しについては、利用者起点の見地からも、道路整備事業に充当し、早期の道路網整備を実現されたい。
 - ・道路特定財源は、利用者による納税であることから、利用者に還元することは当然のことであり、ひいては、利用者の増にも繋がると考えます。